

週刊文春 × 文春オンライン



医師に訊く

病気のリスクと 対策



『週刊文春』は、国内で発売されている全雑誌の中で、書店・コンビニエンスストア・駅売店での販売部数がナンバー1と注目を集めている雑誌です。

読者層は、性別、年齢の比率のバランスがよく、健康や身体に関する悩みを抱える読者も多くいます。さらに、医師がよく読む雑誌Top5の中では、一般誌として唯一医療系雑誌と肩を並べて読まれており、医師からの信頼が厚い雑誌でもあります。

『文春オンライン』は、月間約4億PV！
圧倒的な話題力・影響力！の出版社ナンバー1サイトです。

今回、誌面×WEBでご提案する「医師に訊く 病気のリスクと対策」では、訴求内容に応じ、タイアップ広告(デザインフォーマット有)で展開致します。企画の中では、現代人が知っておきたい疾患を取り上げるとともに、最新の治療法やライフスタイル上の留意点などにつき、医師や専門家が解説する形式で構成します。

企画では、病気や症状についての読者の認知度や理解の向上を図るばかりでなく、読後に医療機関への受診を促すなど、ターゲット読者を次の行動へ誘うような広告展開となります。

ぜひ、この機会に貴社の広報宣伝活動の一環としてご活用賜りますよう、『週刊文春』×『文春オンライン』への出稿をご検討ください。

週刊文春 総合週刊誌 **No.1** 販売部数 **500,167部**

JMPAマガジンデータ(2021年10月~12月)

文春オンライン 出版社系サイト **No.1**

(月間純PV **4億1,395万7PV** UU **5,346万**)

2022年3~5月の平均値

・週刊文春4C2P タイアアップ

・文春オンライン転載
(1万PV保証!)

定価
545万円
のところ...

380万円

145万円OFF!

税別 著名人出演の場合別途

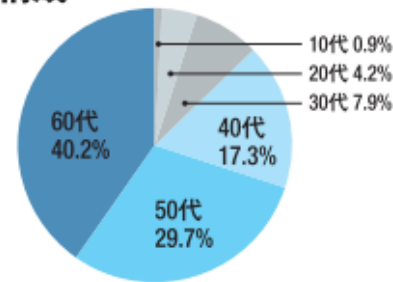




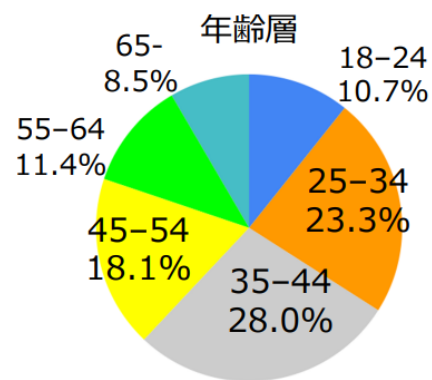
健康・医療情報ニーズの高い読者に 疾患啓発情報を提供

●週刊文春 40～60代が中心(男女比6:4)

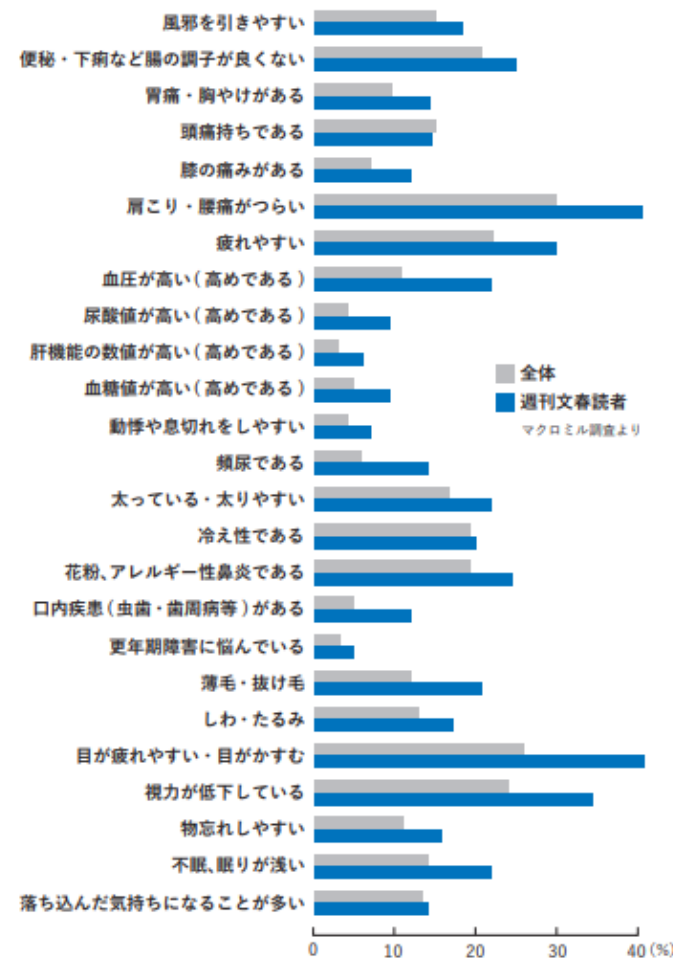
●年齢構成



●文春オンライン 20～60代と幅広い(男女比5:5)

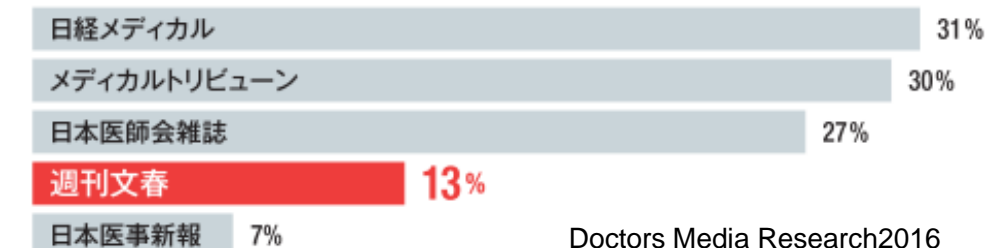


不調を訴える読者が多い

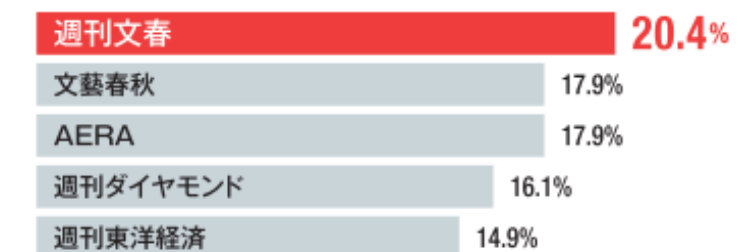


医師・富裕層 によく読まれている雑誌

●医師が読む雑誌ランキング 一般誌1位！



●グリーン車利用者の読む雑誌ランキング 1位！



誌面事例

腰部脊柱管狭窄症
 (提供:住友ファーマ株式会社 *旧:大日本住友製薬)

医師に訊く 病気のリスクと対策 集 中講座 第1弾

腰部脊柱管狭窄症を知る

田中 信弘 氏

「腰の痛みやしびれは、年齢とともに増える。でも、それは必ずしも悪いことばかりではない。適切な対策を講ずれば、痛みやしびれを軽減し、生活の質を向上させることができる。本講座では、腰部脊柱管狭窄症のリスクと対策について、専門医の田中先生に詳しく話を聞いた。」

医師に訊く 病気のリスクと対策

「腰の痛みやしびれは、年齢とともに増える。でも、それは必ずしも悪いことばかりではない。適切な対策を講ずれば、痛みやしびれを軽減し、生活の質を向上させることができる。本講座では、腰部脊柱管狭窄症のリスクと対策について、専門医の田中先生に詳しく話を聞いた。」

医師に訊く 病気のリスクと対策

「腰の痛みやしびれは、年齢とともに増える。でも、それは必ずしも悪いことばかりではない。適切な対策を講ずれば、痛みやしびれを軽減し、生活の質を向上させることができる。本講座では、腰部脊柱管狭窄症のリスクと対策について、専門医の田中先生に詳しく話を聞いた。」

心不全
 (提供:ノバルティスファーマ株式会社)

人生100年時代、私はこう生きる!

いくつになっても、病気があっても 目標を持って自分らしい人生を!

三浦 雄一郎 大城 和恵 三浦 豪太

「心臓の病を持つ三浦雄一郎さんの3日目のエベレスト登山(古神和道)を支えたのは、次男・豪太さんと国際山岳医・大城和恵先生。「山は最高のリハビリ」と語る三浦雄一郎さんの「攻めの療養法」について3人にお話を伺った。」

「心臓の病を持つ三浦雄一郎さんの3日目のエベレスト登山(古神和道)を支えたのは、次男・豪太さんと国際山岳医・大城和恵先生。「山は最高のリハビリ」と語る三浦雄一郎さんの「攻めの療養法」について3人にお話を伺った。」

大城和恵

国際山岳医、心臓病専門医、山岳救急医療の第一人者。山岳救急医療の第一人者として、多くの登山客を救済してきた。心臓病のリスクと対策について、詳しく話を聞いた。

「心臓の病を持つ三浦雄一郎さんの3日目のエベレスト登山(古神和道)を支えたのは、次男・豪太さんと国際山岳医・大城和恵先生。「山は最高のリハビリ」と語る三浦雄一郎さんの「攻めの療養法」について3人にお話を伺った。」

三浦雄一郎

1932年生まれ。エベレスト登山家。1980年代後半から、登山活動から引退し、心臓病と闘った。心臓病のリスクと対策について、詳しく話を聞いた。

「心臓の病を持つ三浦雄一郎さんの3日目のエベレスト登山(古神和道)を支えたのは、次男・豪太さんと国際山岳医・大城和恵先生。「山は最高のリハビリ」と語る三浦雄一郎さんの「攻めの療養法」について3人にお話を伺った。」

三浦豪太

1977年生まれ。登山家。父・雄一郎の登山活動を支え、心臓病と闘った。心臓病のリスクと対策について、詳しく話を聞いた。

「心臓の病を持つ三浦雄一郎さんの3日目のエベレスト登山(古神和道)を支えたのは、次男・豪太さんと国際山岳医・大城和恵先生。「山は最高のリハビリ」と語る三浦雄一郎さんの「攻めの療養法」について3人にお話を伺った。」

進行期パーキンソン病の治療

服部 信孝 先生

「パーキンソン病の治療は、薬物療法だけでなく、運動療法や脳深部刺激療法、経嚥療法など、多様な治療法があります。本講座では、進行期パーキンソン病の治療について、専門医の服部先生に詳しく話を聞いた。」

医師に訊く 病気のリスクと対策

「パーキンソン病の治療は、薬物療法だけでなく、運動療法や脳深部刺激療法、経嚥療法など、多様な治療法があります。本講座では、進行期パーキンソン病の治療について、専門医の服部先生に詳しく話を聞いた。」

パーキンソン病
 (提供:アツヴィ合同会社)

文春オンライン

三浦雄一郎から贈る言葉 いくつになっても、病気があっても目標を持って自分らしい人生を!

人生100年時代、私はこう生きる!

「心臓の病を持つ三浦雄一郎さんの3日目のエベレスト登山(古神和道)を支えたのは、次男・豪太さんと国際山岳医・大城和恵先生。「山は最高のリハビリ」と語る三浦雄一郎さんの「攻めの療養法」について3人にお話を伺った。」

「心臓に新しい痛みが来て受診したら、半信半疑がひどくて狭心症の発作があるといわれたんです。しかも高血圧や糖尿病の疑いもあり、そのままでの生活を続けると寿命3年、当時44歳だった父親(山岳スキーヤーの草分けである三浦三郎さん・故人)は90歳を超えて3回も骨折をしたのに元気で99歳でセンプラン遊覧”を目標にしていた。それに達成されて5年後にエベレストに登山目標を立てたんです!」

オプションプラン

週刊文春4c3p展開

+120万円(通常料金222.5万円)

抜き刷り5000部

+60万円

お問い合わせ

株式会社 文藝春秋
メディア事業一部
担当: 伊与田
TEL: 080-2574-9934
iyoda@bunshun.co.jp